勉誠出版

中世文学会　会員様対象
特別割引のご案内

全品20%OFF

割引クーポンコード: df8c10a97d
（期限：～2020年12月31日）

謹啓

秋冷の候、日頃より、弊社をお引き立ていただきまして、誠にありがとうございます。

さて、この度、会員様対象の特別割引セールを行うことになりました。

当リストの新刊・近刊書籍をはじめ、勉誠出版タイトル全品が対象となります。

この機会にぜひともご購入をご検討くださいますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

謹白

●ご注文について

・弊社ウェブサイトよりご注文を承ります。

https://bensei.jp

各種クレジットカード、paypal（クレジットカード・デビットカード）でのご決済が可能です。
ぜひご利用くださいませ。

割引クーポンコード：df8c10a97d（期限：～2020年12月31日）

こちらの10ケタの英数字を、必ずご入力ください！
未入力の場合、割引が適用されず、定価でのご請求となります。ご了承ください。

・メール添付、FAX、電話でもお受けしております。
ご氏名・ご住所・電話番号・公費／私費の区別・公費の場合は必要書類・宛名・日付の有無をお知らせください。

・2000円以上のお買い上げで、国内全国送料サービス（※ 海外への配送に関しては、実費を頂戴します）

＊ウェブサイト以外の方法によるご注文の際は、
中世文学会の会員であることをお知らせください。

●ご連絡先

Mail　info@bensei.jp
電話　03-5215-9021
FAX　03-5215-9025

より詳細な「研究書 新刊・近刊のご案内」が
右のQRコードからダウンロードいただけます。

最新の出版総合目録は
右のQRコードから
ダウンロードいただけます。

勉誠出版 注文書

Email info@bensei.jp　FAX 03-5215-9025

ご送付先（氏名・住所・電話番号）

通信欄　※お支払い方法（公費・私費）、必要書類はこちらにご記入ください

※割引クーポンコード：df8c10a97d（期限：～2020年12月31日）
こちらの10ケタの英数字を、必ずご入力ください！
※注文書に記載のない書籍につきましても弊社書籍は全点2割引にて承ります。
※近刊の本体価格はすべて予価です。

	書名	編著者	刊行年月	ISBN	本体価格	冊数
◆近刊（ご予約受付中！）						
*	中世和歌論―歌学と表現と歌人	中川博夫 著	2020/11	29199	12,000	
*	中近世移行期の文化と古活字版	高木浩明 著	2020/11	20077	15,000	
	古文書への招待	日本古文書学会 編	2020/11	22277	3,000	
	日本の図書館建築（仮）	五十嵐太郎・李 明喜　編	2020/11	20074	3,500	
	メソアメリカ研究ハンドブック（仮）	伊藤信幸　監修／村上達也・嘉幡 茂　編	2020/11	22296	4,800	
	ラジオ技術産業の百年史　大衆メディアの誕生と変遷（仮）	岡部匡伸　著	2020/11	22295	6,000	
	絶滅危惧種を食らう	秋道智彌・岩崎望　編	2020/11	未定	3,200	
	アートシーンを支える　デジタルアーカイブ・ベーシックス4	高野明彦　監修／嘉村哲郎　責任編集	2020/11	20284	2,500	
	アーネスト・サトウと蔵書の行方　『増補浮世絵類考』の来歴をめぐって	小山騰　著	2020/11	20078	4,200	
	渤海の古城と国際交流	清水信行・鈴木靖民　編	2020/11	22289	14,000	
	中国古典文献に描かれる「境界」とその周辺	山崎　藍　著	2020/12	29200	9,000	
	明治の一発屋芸人たち―珍芸四天王と民衆世界	永嶺重敏 著	2020/12	未定	3,500	
	増補改訂新版 日本中世史入門―論文を書こう	秋山哲雄・田中大喜・野口華世 編	2020/12	未定	3,800	
	中国の都市の記憶	和田博文・李 征・王 志松・高 潔　編	2020/12	未定	7,000	
	中国史書入門　現代語訳　北斉書	氣賀澤保規　監修	2020/12	29612	6,000	
	古文書研究　第90号	日本古文書学会　編	2020/12	22417	3,800	
	韓国朝鮮説話学の形成と展開	金　広植　著	2021/1	未定	11,000	
	真田幸弘点取百韻　翻刻と解題	玉城　司・小幡　伍　編著	2021/2	未定	9,000	
	戦国合戦図屏風の歴史学	高橋　修　著	2021/2	未定	9,000	
◆事典・総記						
	文化情報学事典	村上征勝　監修／金明哲・小木曽智信・中園聡・矢野桂司・赤間亮・阪田真己子・宝珍輝尚・芳沢光雄・渡辺美智子・足立浩平　編	2019/12	20071	18,000	
◆歴史・文化財・美術史・思想史						
	古代の日本と東アジア　人とモノの交流史	鈴木靖民　著	2020/7	22279	10,000	
	新羅中古期の史的研究	武田幸男　著	2020/7	22278	12,000	
	古文書研究　第89号	日本古文書学会　編	2020/6	22416	3,800	
*	金沢文庫古文書　喫茶関係編年資料集	永井晋　編	2020/9	22288	10,000	
*	古文書の様式と国際比較	小島道裕・田中大喜・荒木和憲　編 国立歴史民俗博物館　監修	2020/2	22272	7,800	
*	日本の表装と修理	岩崎奈緒子・中野慎之・森道彦・横内裕人　編	2020/3	20073	7,000	
	歴博甲本洛中洛外図屏風の研究	小谷量子　著	2020/2	22257	10,000	
	近世大名墓の考古学　東アジア文化圏における思想と祭祀	松原典明　編	2020/6	22276	12,000	
*	儒教儀礼と近世日本社会　闇斎学派の『家礼』実践	松川雅信　著	2020/7	21056	10,000	
*	生きるための地域史―東海地域の動態から	中村只吾・渡辺尚志　編	2020/10	22290	8,000	
	日本近世社会と町役人	望月良親　著	2020/2	22266	6,000	
	近世豪商・豪農の〈家〉経営と書物受容―北奥地域の事例研究	鈴木淳世　著	2020/2	22265	10,000	
	近世都市の常態と非常態―人為的自然環境と災害	渡辺浩一／マシュー・デーヴィス　編	2020/2	22267	7,000	
	江戸日本橋商人の記録―〈にんべん〉伊勢屋髙津伊兵衛家の古文書	澤登寛聡・筑後則　編	2020/3	22269	11,000	
	スイス使節団が見た幕末の日本　ブレンワルド日記1862-1867	横浜市ふるさと歴史財団・ ブレンワルド日記研究会　編	2020/6	22275	9,800	
	ロマノフ王朝時代の日露交流	東洋文庫・生田美智子　監修／牧野元紀　編	2020/8	22286	3,800	
	甦る「豊後切支丹史料」―バチカン図書館所蔵マレガ氏収集文書より	松井洋子・佐藤孝之・松澤克行　編	2020/2	22261	12,000	
	琉球船漂着者の「聞書」世界―『大島筆記』翻刻と研究	島村幸一　編	2020/3	29197	10,000	
	新彰義隊戦史	大藏八郎　編	2020/9	22285	7,000	
	日本建築の歴史的評価とその保存	山岸常人　著	2020/2	22268	17,000	
*	日本画の所在―東アジアの視点から	北澤憲昭・古田亮　編	2020/4	27055	6,500	
	宋代中国都市の形態と構造	伊原弘　著	2020/6	22069	4,500	
	描かれたマカオ―ダーウェント・コレクションにみる東西交流の歴史	貴志俊彦・朱益宜・黄淑薇　編	2020/4	22262	22,000	
	上海におけるプロテスタント　現代中国の都市と宗教空間をめぐる変遷	村上志保　著	2020/5	21055	6,000	
	現代ドイツへの視座―歴史学的アプローチ　2　ナチズム・ホロコーストと戦後ドイツ	石田勇治・川喜田敦子　編	2020/9	22513	6,000	
	現代ドイツへの視座―歴史学的アプローチ　3　ドイツ市民社会の史的展開	石田勇治・川喜田敦子・平松英人・辻英史　編	2020/9	22514	6,000	
	「本読み」の民俗誌　交叉する文字と語り	川島秀一　著	2020/6	23081	3,500	
	メディアのなかの仏教　近現代の仏教的人間像	森覚　編	2020/5	21054	7,500	
	渋沢敬三とアチック・ミューゼアム―知の共鳴が創り上げた人文学の理想郷	加藤幸治　著	2020/1	22263	3,500	
	荒れ野の六十年―東アジア世界の歴史地政学	與那覇潤　著	2020/1	22264	3,200	
◆古典文学・文学史						
*	挑発する軍記	大津雄一　著	2020/10	22292	3,800	
*	江戸庶民のまじない集覧―創意工夫による生き方の智恵	長友千代治　著	2020/10	20076	6,000	
	医学・科学・博物　東アジア古典籍の世界	陳捷　編	2020/2	20072	12,000	
	水門―言葉と歴史　第二十九号	水門の会　編	2020/1	22443	3,500	
	本朝文粋抄　六	後藤昭雄　著	2020/2	29224	3,200	
	仙洞句題五十首・水無瀬殿恋十五首歌合　全注釈	石川一　編	2020/3	29195	10,000	
	南方熊楠と日本文学	伊藤慎吾　著	2020/3	22270	7,000	
	幕末明治の社会変容と詩歌	青山英正　著	2020/2	29196	10,000	
	明治の教養―変容する〈和〉〈漢〉〈洋〉	鈴木健一　編	2020/1	29193	7,500	
	杜甫研究年報　3　杜甫研究年報　第三号	日本杜甫学会　編	2020/5	29443	2,000	
	お伽草子超入門	伊藤慎吾　編	2020/7	29188	2,800	
	白居易研究年報　最終号・第20号　特集　歌舞音曲　附　日本国内白居易研究文献解題目録	白居易研究会　編	2020/9	07098	9,000	
	吉田松陰と学人たち	徳田武　著	2020/9	22291	10,000	
	漱石文体見本帳	北川扶生子　著	2020/1	29189	2,800	
	ビジュアル資料でたどる　文豪たちの東京	日本近代文学館　編	2020/4	29163	2,800	
	同性愛文学の系譜―日本近現代文学におけるLGBT以前／以後	伊藤氏貴　著	2020/2	29191	2,800	
	平川祐弘決定版著作集　ダンテ『神曲』講義	平川祐弘　著	2020/2	29422	10,000	
	平川祐弘決定版著作集　西洋人の神道観―日本人のアイデンティティーを求めて	平川祐弘　著	2020/3	29416	8,000	
	平川祐弘決定版著作集　東の自生観と西の創造観	平川祐弘　著	2020/3	29428	14,000	
	平川祐弘決定版著作集　開国の作法	平川祐弘　著	2020/4	29429	14,000	
	平川祐弘決定版著作集　　アーサー・ウェイリー　『源氏物語』の翻訳者	平川祐弘　著	2020/7	29424	14,000	
	アメリカ現代詩入門―エズラ・パウンドからボブ・ディランまで	原成吉　著	2020/2	29192	3,500	
	100人の作家で知る　ラテンアメリカ文学ガイドブック	寺尾隆吉　著	2020/3	29194	2,800	

	書名	編著者	刊行年月	ISBN	本体価格	冊数
◆日本語学・言語学						
	日本書紀声点本の研究	鈴木豊　著	2020/3	28048	14,000	
	龍谷大学図書館蔵 黒谷上人語燈録 元亨版　翻刻および総索引	佐々木勇　主編	2020/4	28050	18,000	
	近世後期テニヲハ論の展開と活用研究	遠藤佳那子　著	2020/1	28047	8,000	
	論究日本近代語　第1集	日本近代語研究会　編	2020/3	28521	15,000	
	サハ語文法—統語的派生と言語類型論的特異性	江畑冬生　著	2020/4	28049	9,800	
	国宝　漢書楊雄伝　第五十七	京都国立博物館　原本所蔵・編 石塚晴通・上杉智英・小助川貞次　解説	2019/12	28046	35,000	
	続　岐点の軌跡　老いてなお岐点あり—老いてなお岐点あり	北原保雄　著	2020/4	28503	4,500	
◆図書館学・アーカイブ						
	デジタルアーカイブ・ベーシックス3　自然史・理工系研究データの活用	井上透　監修／中村覚　責任編集	2020/4	20283	2,500	
	ライブラリーぶっくす　　司書のお仕事2　本との出会いを届けます	大橋崇行　著／小曽川真貴　監修	2020/10	20075	1,800	
◆統計学						
	この本を書いたのは誰だ？—統計で探る“文章の指紋”	村上征勝　著	2020/4	29198	1,800	
	R・Pythonによる　統計データ科学	杉山髙一・藤越康祝　監修	2020/2	24011	2,700	
◆アジア遊学						
	240　六朝文化と日本—謝霊運という視座から	蒋義喬　編著	2019/12	22706	2,800	
	241　源実朝—虚実を越えて	渡部泰明　編	2019/12	22707	2,800	
	242　中国学術の東アジア伝播と古代日本	榎本淳一・吉永匡史・河内春人　編	2020/1	22708	2,800	
	243　中央アジアの歴史と現在—草原の叡智	松原正毅　編	2020/3	22709	2,400	
	244　前近代東アジアにおける〈術数文化〉	水口幹記　編	2020/3	22710	3,200	
	245　アジアの死と鎮魂・追善	原田正俊　編	2020/3	22711	2,800	
	246　和漢のコードと自然表象—十六、七世紀の日本を中心に	島尾新・宇野瑞木・亀田和子　編	2020/4	22712	2,800	
	247　移動するメディアとプロパガンダ—日中戦争期から戦後にかけての大衆芸術	西村正男・星野幸代　編	2020/4	22713	2,800	
	248　明治が歴史になったとき　史学史としての大久保利謙	佐藤雄基　編	2020/6	22714	2,800	
	249　漢学とは何か　漢唐および清中後期の学術世界	川原秀城　編	2020/7	22715	2,800	
＊	250　酔いの文化史　儀礼から病まで	伊藤信博　編	2020/8	22716	2,800	
	251　仏教の東漸と西漸	荒見泰史　編	2020/9	22717	2,800	
＊	252　中世日本の茶と文化　生産・流通・消費をとおして	永井晋　編	2020/9	22718	2,800	
	253　ポストコロナ時代の東アジア　新しい世界の国家・宗教・日常	玄武岩・藤野陽平　編	2020/9	22719	2,800	
◆書物学						
＊	第18巻　蔵書はめぐる　海外図書館の日本古典籍コレクション	編集部　編	2020/7	20718	1,800	

11月刊行予定！

中世和歌論

——歌学と表現と歌人

中川博夫［著］

和歌の学理と表現、それを担う歌人たちの営為は、どのような意識・観念のもとに展開していったのか——

和歌の史的蓄積を自らの歌学の中に位置づけ、後の和歌と勅撰集のあり方を方向づけた俊成や定家。彼らの和歌観を直接・間接に選択・継承し、それぞれの和歌のあり方を模索していった為家や京極派。王朝和歌から連なる中世和歌の史的変遷を丁寧に紐解き、個々の特質と連続性を多面的に明らかにする待望の一書。

［著者プロフィール］

中川博夫（なかむら・ひろお）
鶴見大学文学部教授。専門は和歌文学。
主な論文に「鎌倉期関東歌壇の和歌——中世和歌表現史試論」（『中世文学』五九、二〇一四年）、「中世和歌表現史試論」（『国語と国文学』二〇一六年）、「実朝を読み直す——藤原定家所伝本『金槐和歌集』抄」（渡部泰明編『源実朝——虚実を越えて』勉誠出版、二〇一九年）などがある。

［目次］

序言

序論
1 中古「本歌取」言説史論
2 本歌取説と実作の評価——定家の所説と秀歌撰歌をめぐって
3 古注の言説と和歌の実作と現代の注釈と——「括る」か「潜る」か
4 作意と解釈——『新古今集』の羈旅歌二首をめぐって

歌学論
5 『新勅撰和歌集』序の理念
6 『詠歌一体』論
7 『遂加』の方法
8 『越部禅尼消息』論

表現論
9 中世和歌表現史論
10 『土佐日記』の和歌の踪跡
11 「空に知る」考
12 「身を身」と「思ふ」考

京極派和歌各論
13 「けしき」の様相
14 「三日月」をよむ
15 〈軒〉をとおして
16 〈間〉にうかがう

歌人論
17 西行の影響——『十訓抄』と関東歌人に見る
18 臨終の俊成——「普賢品」を覚悟すること
19 妻の死・母の死——俊成・定家と『源氏物語』
20 治世の音・亡国の音——定家とその周辺

あとがき・初出一覧・索引

本体一二、〇〇〇円（+税）
A5判並製カバー装・四九六頁
二〇二〇年十一月刊行
ISBN978-4-585-29199-2・C3092

書　名	部　数
中世和歌論 **——歌学と表現と歌人** 中川博夫［著］ 本体12,000円（+税） A5判上製カバー装・496頁 ISBN 978-4-585-29199-2・C3092 2020年11月刊行	部

ご送付先ご住所（通信欄）

勉誠出版
※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠出版宛にお申し出ください。
千代田区神田神保町3-10-2　TEL.03-5215-9021　WEBSITE.http://bensei.jp/
FAX◉03-5215-9025

書誌学・出版史・中世文学・日本史（中世・近世）

11月刊行予定！

中近世移行期の文化と古活字版

高木浩明［著］

人々を魅了した新たなメディア

十六世紀末、従来出版活動を行っていた寺院はもとより、天皇や将軍そして新興の豪商などをも魅了した、日本書物史における新たなメディアが誕生した。

――古活字版である。

これらは、どのような環境において、いかなる人的ネットワークのもとで刊行され、どのように享受されたのか。古典の代表作として広く享受され、多数の現存伝本を持つ下村本『平家物語』、史上稀なる豪華活字版本として製作された「嵯峨本」、そして、古活字版製作をめぐる場と人びとに着目し、長年にわたる古活字版の悉皆調査を行ってきた知見をもとに日本出版史における古活字版の時代を炙り出す。

嵯峨本諸本、『平家物語』下村本諸本の現存伝本目録を収載。

図版点数 約200点！

［著者プロフィール］

高木浩明（たかぎ・ひろあき）

清風高等学校・近畿大学文芸学部非常勤講師。専門は日本中世文学、書誌学。古活字版の悉皆調査により、第3回「岩瀬弥助記念書物文化賞」を受賞。著書、論文に「古活字版悉皆調査目録稿」(一)～(九)（鈴木俊幸編『書籍文化史』第十一～十九集、二〇一〇～一八年）、「大東急記念文庫蔵古活字版悉皆調査目録稿」（『調査研究報告』第四十号、国文学研究資料館、二〇二〇年）などがある。

［目次］

はじめに

第一部　下村本『平家物語』とその周辺

第一章　下村本『平家物語』と製作環境をめぐって

第二章　下村本『平家物語』書誌解題稿

第三章　『平家物語』十行平仮名古活字本は下村本の底本たり得るか

第四章　下村本『平家物語』とその周辺――國學院大學図書館蔵本から考えられること

第五章　『平家物語』古活字覚一本についての覚書

第六章　古活字版『源平盛衰記』の諸版について

第二部「嵯峨本」の世界

第一章　「嵯峨本」再見――現存伝本調査報告

第二章　嵯峨本『伊勢物語』書誌考証

第二章付録　嵯峨本『伊勢物語』（慶長十三年初刊本）部分異植字一覧

第三章　古活字版『伊勢物語』書誌解題稿

第四章　嵯峨本『方丈記』書誌考証

第五章　嵯峨本『撰集抄』書誌考証

第三部　古活字版をめぐる場と人々

第一章　『百人一首抄』（幽斎抄）成立前夜――中院通勝の果たした役割

第二章　『徒然草寿命院抄』成立前夜――中院通勝真筆本『つれ〳〵私抄』の紹介を兼ねて

第三章　古活字版『徒然草寿命院抄』書誌解題稿

第四章　角倉素庵と学問的環境

第五章　古活字版を必要とした人々

第六章　古活字版『大和物語』の刊行年時を考える

第七章　古活字版『後漢書』の刊行年時を考える

第八章　本文は刊行者によって作られる――要法寺版『沙石集』を糸口にして

第九章　要法寺という場について考える

第十章　二兵衛とその出版活動をめぐる覚書

おわりに／初出一覧／図版一覧／索引

本体15,000円（+税）

A5判上製カバー装・880頁

ISBN 978-4-585-20077-2・C3000

2020年11月刊行

書　名	部　数
中近世移行期の文化と古活字版 高木浩明［著］ 本体15,000円（+税） A5判上製カバー装・880頁 ISBN 978-4-585-20077-2・C3000 2020年11月刊行	部

ご送付先ご住所（通信欄）

勉誠出版

※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠出版宛にお申し出ください。

千代田区神田神保町3-10-2　TEL.03-5215-9021　WEBSITE.http://bensei.jp/

FAX◉03-5215-9025

金沢文庫古文書 喫茶関係編年資料集

永井晋〈編〉

本体 一〇、〇〇〇円(+税)
A5判上製カバー装
口絵四頁 + 本文三七六頁
二〇二〇年九月刊行
ISBN978-4-585-22288-0 C3021

従来の茶文化史のミッシングリンクを埋める貴重史料

日本の中世社会において、茶はさまざまな場面で利用されてきた。特に鎌倉の武家文化・宗教文化は、飲用のみならず、儀礼や贈答などさまざまな場において、茶との密接な関係を有してきたが、従来の研究では、禅宗とのかかわりが強調されることが多く、充分に考察がなされているとはいいがたい。これら中世東国の茶の歴史をいまに伝える史料が『金沢文庫古文書』のなかに多数存在する。同史料群より貴重史料三〇八通の翻刻と解説を行い、編年で配列、これまで見落とされてきた中世日本の茶をめぐる文化的広がりを明らかにする。

【目次】

カラー口絵
はじめに
翻刻
解説『金沢文庫古文書』の中世喫茶史料
金沢氏・称名寺喫茶関係資料参考年表
あとがき
索引

【編者プロフィール】

永井　晋(ながい・すすむ)

神奈川県立金沢文庫主任学芸員、神奈川県立歴史博物館企画普及課長を経て、現在関東学院大学客員教授。専門は日本史。主要著書に、『金沢貞顕』(吉川弘文館、二〇〇三年)、『金沢北条氏の研究』(八木書店、二〇〇六年)、『金沢北条氏編年資料集』(共著、八木書店、二〇一三年)、『源頼政と木曽義仲――勝者になれなかった源氏』(中央公論新社、二〇一五年)、『平氏が語る源平争乱』(吉川弘文館、二〇一九年)、『鎌倉僧歴事典』(八木書店、二〇二〇年)などがある。

同時刊行！

永井　晋〈編〉【アジア遊学252号】

中世日本の茶と文化
生産・流通・消費をとおして

本体二、八〇〇円(+税)
A5判並製カバー装・二四〇頁
二〇二〇年九月刊行
ISBN978-4-585-22718-2 C1321

湛睿書状(国宝金沢文庫文書より)

書　名	部　数
金沢文庫古文書 喫茶関係編年資料集　永井　晋［編］ 本体 10,000円(+税) A5判上製カバー装・口絵4頁+本文約376頁 2020年9月刊行 ISBN978-4-585-22288-0 C3021	部

ご送付先ご住所（通信欄）

勉誠出版
※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠出版宛にお申し出ください。
千代田区神田神保町3-10-2　TEL.03-5215-9021　WEBSITE.http://bensei.jp/
FAX◉03-5215-9025

中世日本の茶と文化

――生産・流通・消費をとおして

【アジア遊学252】

永井晋［編］

日本の中世社会において、
「茶」はどのように生産され、流通したのか。
また茶・喫茶にかかわる儀礼や文化は
どのように受容され、展開したのか。

称名寺に伝来した平安時代から室町時代までの茶に関する文献史料、各地に残された美術工芸品や考古資料などの諸資料を丹念に紐解き、また、考古学・農業学・気候史・技術史・遺伝子学など様々な分野の視点なども交え、「茶の湯」・「茶道」成立以前の「中世の茶」をとらえ直す。

本体一二、八〇〇円（+税）
A5判並製カバー装・二四〇頁
二〇二〇年九月刊行
ISBN978-4-585-22718-2 C1321

［目次］

序文　鎌倉・室町前期における茶の研究◉永井　晋
第一部◉称名寺伝来資料に残る茶の世界
国宝「称名寺聖教・金沢文庫文書」の茶関係資料◉山地　純
『金沢文庫古文書』が示す鎌倉・房総の茶◉永井　晋
「称名寺聖教」に見える「茶」と「茶」◉張　名揚
コラム◎中世都市鎌倉と喫茶文化◉大澤　泉
第二部◉中世における茶の生産と道具
中世前期の茶の受容◉福島金治
抹茶の変容――中世の気候変動と覆い下茶園の成立◉沢村信一
中世前期の茶臼◉桐山秀穂
建盞と天目――茶器の種類と名称◉岩田澄子
第三部◉中世仏教と茶
栂尾茶・醍醐茶の評判――十四世紀高山寺の喫茶文化◉芳澤　元
東アジア仏教文化と中世信濃の喫茶
――王禎『農書』の茗煎・末茶・蠟茶に基づく考察◉祢津宗伸
薬としての茶――栄西・性全・忍性・叡尊◉岩間眞知子
コラム◎中世鎌倉の喫茶――建長寺境内の発掘調査成果から◉宮田　眞
コラム◎仏教美術と茶――羅漢図に見る喫茶文化◉米沢　玲
第四部◉地方の茶
中世武蔵国の慈光茶――銘柄の形成とその風味◉小田部家秀
出土遺物からみた中世寺院と茶
――伊豆国円成寺跡の出土遺物から◉池谷初恵
コラム◎称名寺領下総国下河辺庄赤岩郷周辺に残る在来◉佐々木清匡
コラム◎史跡河越館跡から出土した喫茶関連資料◉平野寛之
第五部◉室町時代の茶
室町社会における巡事と茶寄合◉白川宗源
コラム◎花はさかりに、月はくまなきのみ見るものかは◉橋本　雄

［編者紹介］

永井晋（ながい・すすむ）
関東学院大学客員教授。専門は日本中世史。主な著書・論文に『金沢北条氏の研究』（八木書店、二〇〇九年）、「鎌倉時代の文章道大業の家――勤める官職と活動の場」（福島金治編『学芸と文芸生活と文学の歴史学　九』竹林舎、二〇一六年）、「武家の棟梁摂津源氏の終焉」（中村文編『歌人源頼政とその周辺』青簡舎、二〇一九年）などがある。

同時刊行！

金沢文庫古文書 喫茶関係編年資料集

永井晋［編］

貴重史料三〇八通の翻刻と解説を編年で配列。中世日本の茶をめぐる文化的広がりを明らかにする。

本体一〇、〇〇〇円（+税）
A5判上製カバー装
口絵四頁＋本文三七六頁
ISBN978-4-585-22288-0 C3021

書　名	部　数
中世日本の茶と文化――生産・流通・消費をとおして 【アジア遊学No.252】 永井晋［編］ 本体2,800円（+税） A5判並製カバー装・240頁 2020年9月刊行 ISBN978-4-585-22718-2 C1321	部

ご送付先ご住所（通信欄）

勉誠出版
※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠出版宛にお申し出ください。
千代田区神田神保町3-10-2　TEL.03-5215-9021　WEBSITE.http://bensei.jp/
FAX◉03-5215-9025

酔いの文化史

儀礼から病まで

伊藤信博［編］

【アジア遊学250】

東西飲酒文化の深層に迫る

日本酒やワインは、どのように生み出され、人々の生活に息づいてきたのか。飲む行為と宗教や儀礼とはどのように結びついているのか。醸造や酒宴の歴史から、食文化とのかかわり、文学・絵画における表象、アルコール依存症など現代的な問題まで、宗教的・社会的機能をもつ飲酒文化について、文学史・美術史・歴史学・食文化史など様々な分野から切り込む。

［編者紹介］

伊藤信博（いとう・のぶひろ）

椙山女学園大学教授。専門は比較文化史。主な論文に、「掲鉢図と水陸斎図について」（『日本文学の展望を拓く――絵画イメージの回廊』第二巻、笠間書院、二〇一七年）、「擬人化の転換期において」（『妖怪・憑依・擬人化の日本文化――異類文化学入門』笠間書院、二〇一六年）、共編著に、『酒飯論絵巻・影印と研究――文化庁本・フランス国立図書館本とその周辺』（臨川書店、二〇一五年）などがある。

［目次］

序言――東西の飲酒文化を考える…**伊藤信博**

Ⅰ◉酔いと宗教

無明の酒に酔う――〈酔い〉の表現史…**小峯和明**

髑髏盃をめぐって――織田信長を端緒に…**目黒将史**

僧坊酒宴追考…**芳澤　元**

酒と仏教――酒の仏は「酔い酔い酔い酔い、酔いやな」…**石井公成**

【コラム】人類最初の酔っぱらいとしてのノア…**木俣元一**

Ⅱ◉飲酒とその表象

平安貴族の「酔い」と「まつりごと」…**髙橋　亨**

平安後期における香薬の「酔い」――『香要抄』を中心に…**アンドリュー・マッカンバー**

破戒と陶酔――中世絵画に見る…**山本聡美**

黄表紙に擬人化される酒…**畑　有紀**

中世文学のなかの居酒屋と放蕩息子――クリシェか現実か…**前野みち子**

Ⅲ◉飲酒と環境

米と酒そしてその周辺――環境の視座から…**伊藤信博・伊藤彰敏**

椒芽田楽の酒落本から見るお酒と酔い…**ディラン・ミギー**

飲料の製造、飲み方と文化――例外としての日本酒？…**ニコラ・ボーメール**

アンシャンレジーム期のフランスにおける酔いに対する寛容…**マテュー・ルクートル（棚橋美知子　訳）**

酔う女――徳田秋聲『新世帯』と明治期の飲酒文化…**安井海洋**

【コラム】日本酒と肴――海辺の村で呑み初め…**小川雅魚**

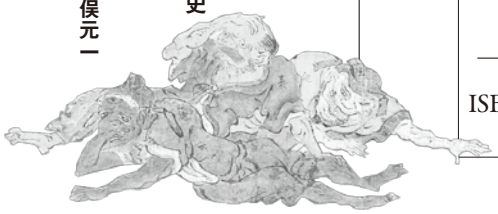
Ⅳ◉飲酒と病

【コラム】フランスにおけるアルコール中毒対策の政策的曖昧さ…**ジャン＝ロベール・ピット（棚橋美知子　訳）**

【コラム】飲酒と体内器官の関係…**トマ・ロラン（棚橋美知子　訳）**

【コラム】アルコール飲料製造における生物学的プロセス…**アンドレス・マツラナ（棚橋美知子　訳）**

翻訳を終えて…**棚橋美知子**



本体 2,800 円（+税）

A5判並製カバー装・256頁

ISBN978-4-585-22716-8　C1320

2020年8月刊行

書　名	部　数
酔いの文化史　儀礼から病まで　【アジア遊学No.250】 伊藤信博［編］ 本体2,800円（+税） A5判並製カバー装・256頁 2020年8月刊行 ISBN978-4-585-22716-8 C1320	部

ご送付先ご住所（通信欄）

勉誠出版

※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠出版宛にお申し出ください。

千代田区神田神保町3-10-2　TEL.03-5215-9021　WEBSITE.http://bensei.jp/

FAX◉03-5215-9025

挑発する軍記

大津雄一〈著〉

「暴力」と「愛」と——

「いくさ」を描く物語は
なにを我々に伝えているのか

大量の血と首、首のないむくろ、
切り落とされた手、切腹して折り重なる死骸。
愛のために生き、
そして死んでいった親子や夫婦、主従たち。
『平家物語』『太平記』などに代表される
「いくさ」を描いた物語は、
いまなお、なぜ読まれ、語り継がれていくのか。
「死」と「生」の物語のもつ魅力と意義、
そして可能性をあざやかに解き明かす。

【目次】

はじめに

第一部◉いくさの表象
第一章　軍記と暴力
第二章　『平家物語』という祝祭
第三章　いくさと少年たち

第二部◉愛の表象
第一章　『平家物語』の語る愛
第二章　残された女の物語

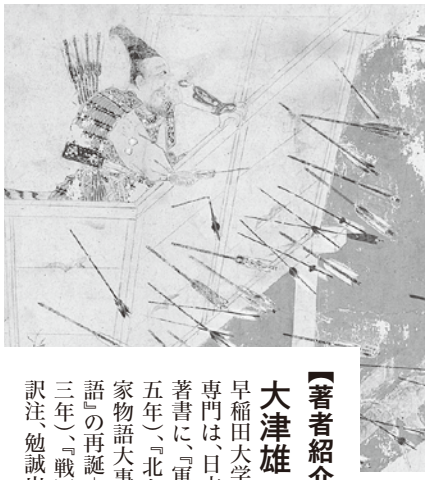
第三部◉知の様相
第一章　慈光寺本『承久記』は嘆かない
第二章　『太平記』の「知」

第四部◉英雄の誕生
第一章　野蛮と純朴
第二章　時勢と英雄

第五部◉教室の『平家物語』
第一章　何のために？
——『平家物語』群読の危うさ——
第二章　『平家物語』に惚れさせない

おわりに
初出一覧
索　引

後三年合戦絵詞
出典: ColBase(https://colbase.nich.go.jp/)



【著者紹介】

大津雄一（おおつ・ゆういち）
早稲田大学教育・総合科学学術院教授。
専門は、日本中世文学。
著書に、『軍記と王権のイデオロギー』（翰林書房、二〇〇五年）、『北条五代記』（共著、勉誠出版、一九九八年）、『平家物語大事典』（共編、東京書籍、二〇一〇年）、『平家物語』の再誕——創られた国民叙事詩』（NHK出版、二〇一三年）、『戦国武将逸話集　訳注『常山紀談』』（全四巻、共訳注、勉誠出版、二〇一〇～二〇一八年）などがある。

本体二、八〇〇円（+税）
四六判上製カバー装・三八四頁
二〇二〇年十月刊行
ISBN978-4-585-22292-7 C1021

書　名	部　数
挑発する軍記 大津雄一【著】 本体3,800円（+税） 四六判上製カバー装・384頁 2020年10月刊行 ISBN978-4-585-22292-7 C1021	部

ご送付先ご住所（通信欄）

勉誠出版
※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠出版宛にお申し出ください。
千代田区神田神保町3-10-2　TEL.03-5215-9021　WEBSITE.http://bensei.jp/
FAX◉03-5215-9025

生きるための地域史

東海地域の動態から

中村只吾・渡辺尚志［編］

中近世日本、人びとは「生きる」ために、何を考え、どのように行動したのか——

日本列島の中央部に位置し、東日本と西日本をつなぐ東海道という大動脈が走る東海地域にスポットをあて、その地域の社会環境・自然環境と向き合って悩み、選択した人びとの営為を多面的に描き出す。

【目次】

序　章　◎中村只吾

第一部　**戦国期地域権力としての生き方**

第一章　領主——地域神社間相論と戦国大名権力
——今川領国遠江国一宮庄の事例から◎糟谷幸裕

第二章　戦国期の在地社会階層と〈惣荘寺院〉
——伊勢国一志郡小倭郷成願寺文書再論◎水林純

第三章　戦国期江川氏の基礎的分析◎伊藤拓也

第二部　**近世諸主体の生き方と地域の政治・経済環境**

第四章　近世前期における土豪金融の特徴
——浜松藩領有玉村高林家を事例に◎福澤徹三

第五章　幕末の美濃国における幕領と尾張藩
——文久元年の私領化・多治見の陶磁器・土岐川の治水◎望月良親

第六章　維新期における遠江国旗本家の動向
——寄合五井松平家を中心に◎野本禎司

第三部　**近世〜現在、水辺という環境における生き方**

第七章　藻草入会の近世的特質と共同体
——浜名湖の諸事例から◎斎藤一

第八章　魚漁分一役請負と海村の対応◎渡辺尚志

第九章　海辺の家の近世〜現在
——伊豆国内浦小海・日吉（屋号東）家における家・地域の歴史◎中村只吾

あとがき◎渡辺尚志

執筆者一覧

【編者略歴】

中村只吾（なかむら・しんご）

富山大学学術研究部教育学系准教授。専門は日本近世漁村史。論文に「近世後期〜明治初期、津元家の存在実態とその背景に関する再考察——長浜村大川（屋号大屋）家を事例として」（渡辺尚志編『移行期の東海地域史——中世・近世・近代を架橋する』勉誠出版、二〇一六年）、「漁村秩序の近世的特質と自然資源・環境」（『歴史学研究』963、二〇一七年）などがある。

渡辺尚志（わたなべ・たかし）

一橋大学大学院社会学研究科教授。専門は日本近世村落史。著書に『近世百姓の底力』（敬文舎、二〇一三年）、『幕末維新期の名望家と地域社会』（同成社、二〇一四年）、『百姓たちの水資源戦争』（草思社、二〇一四年）、編著に『生産・流通・消費の近世史』（勉誠出版、二〇一六年）、『移行期の東海地域史——中世・近世・近代を架橋する』（勉誠出版、二〇一六年）などがある。

本体 8,000 円（+税）

A5判上製カバー装・304頁
ISBN978-4-585-22290-3 C3021
2020年10月刊行

書　名	部　数
生きるための地域史 **東海地域の動態から** 中村只吾・渡辺尚志［編］ 本体8,000円（+税） A5判上製カバー装・304頁 2020年10月刊行 ISBN978-4-585-22290-3 C3021	部

ご送付先ご住所（通信欄）

勉誠出版

※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠出版宛にお申し出ください。
千代田区神田神保町3-10-2　TEL.03-5215-9021　WEBSITE.http://bensei.jp/

FAX◉03-5215-9025

お伽草子超入門

伊藤慎吾【編】

純愛あり、ラブコメあり、異世界・異能バトルあり、擬人化あり・・・

様々な物語のアイディアの宝庫である「お伽草子」。その代表的なテーマである**妖怪、異類婚姻、恋愛、歌人伝説、高僧伝説**などの物語を紹介。読みやすい現代語訳、多数の図版とともに読み解く。

お伽草子を題材にしたマンガ・小説などを広く紹介する「お伽草子ガイド」、関連物語を調べるための手引き「モチーフ索引」、「妖怪小辞典」などを付した楽しく読める、使える「お伽草子」入門書！

【編者紹介】

伊藤慎吾（いとう・しんご） 國學院大學栃木短期大学日本文化学科准教授。専門はお伽草子研究。主な著書に『中世物語資料と近世社会』（三弥井書店、二〇一七年）、『擬人化と異類合戦の文芸史』（三弥井書店、二〇一七年）、『「もしも？」の図鑑　ドラゴンの飼い方』（実業之日本社、二〇一八年）、『南方熊楠と日本文学』（勉誠出版、二〇二〇年）などがある。

もくじ

カラー口絵
はじめに
妖怪物語『**是害坊絵**』
　アンチヒーローとしての天狗◎**伊藤慎吾**
異類婚姻物語『**藤袋の草子**』
　人間は異類と結婚できるのか
　――西欧の昔話と比べてみる◎**木村慧子**
マンガ『ねずみの草子』◎近藤ようこ
　解説「ねずみの草子」のころ◎**近藤ようこ**
恋愛物語『**花子ものぐるひ**』
　会うは別れの始め、別れは再会の始まり◎**式町眞紀子**
歌人伝説『**花鳥風月**』
　巫女が占う『花鳥風月』の不思議な世界◎**菅原正子**
高僧伝『**弘法大師御本地**』
　異世界転生して最強の呪文詠唱者（スペル・キャスター）になった件◎**伊藤慎吾**
魅惑のお伽草子――不思議の物語世界◎**徳田和夫**
【付録篇】
お伽草子の基礎知識◎お伽草子ガイド
年表風作品ガイド◎主要モティーフ索引
付テーマ別一文紹介◎妖怪小辞典
口絵解説
あとがき

カバーイラスト◎近藤ようこ

近藤ようこのマンガも掲載！

本体2,800円（+税）
四六判並製カバー装
352頁+カラー口絵8頁
2020年7月刊行
ISBN978-4-585-29188-6 C0095

書　名	部　数
お伽草子超入門 伊藤慎吾［編］ 本体2,800円（+税） 四六判並製カバー装・352頁+カラー口絵8頁 2020年7月刊行 ISBN978-4-585-29188-6 C0095	部

ご送付先ご住所（通信欄）

勉誠出版
※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠出版宛にお申し出ください。
千代田区神田神保町3-10-2　TEL.03-5215-9021　WEBSITE.http://bensei.jp/
FAX◉03-5215-9025

江戸庶民のまじない集覧

創意工夫による生き方の智恵

長友千代治［著］

疫病、災害、男女関係、不妊、子育て、疾病、寿命…

生活のなかで直面するさまざまな悩みや障害に、江戸時代の人々は「まじない」により対処してきた。それらは、生き方を積極的に探し求めて考え出された智恵であり、また、いまを生きる我々にも貴重な示唆を与えてくれる源泉でもある。江戸時代に出版・書写された資料を博捜、効能別に分類し、二四〇点以上の図版とともに紹介する「まじない」百科事典！

［著者プロフィール］

長友千代治（ながとも・ちよじ）

昭和十一年宮崎市生まれ。三十五年佐賀大学卒業、四十五年大阪市立大学大学院博士課程修了。大阪府立図書館司書、愛知県立大学・京都府立大学・佛教大学教授を歴任。

著書に、『近世貸本屋の研究』（昭和五十七年）、『近世上方作家・書肆研究』（平成六年）、『近世上方浄瑠璃本の研究』（平成十一年）、『江戸時代の書物と読書』（平成十三年。以上東京堂出版）、『江戸時代の図書流通』（思文閣出版、平成十四年）、『江戸庶民の読書と学び』（勉誠出版、平成二十九年）など。編書に、『重宝記資料集成』全四十五巻別巻総索引（臨川書店、平成十六～二十一年）、『江戸時代生活文化事典』（平成三十年）など。

［目次］

①「まじない」と「のろい」と
②呪縛と祈り、そして養生
③呪い総覧
④食物の呪い
⑤地震・雷・火事・親父
⑥人間関係の呪い
⑦日常生活の呪い
⑧旅行の呪い
⑨犬・猫・鼠・土竜・鼬・鶏・家鴨・鳥・烏・鳶・時鳥・馬・牛・狐・狸・邪鬼・霊気の呪い
⑩虫・毒虫・蚤・虱・蝿・蚊・蜂・虻・油虫・蜘蛛・百足・蛇・蝮の呪い
⑪療治の呪い
⑫内科の呪い
⑬外科の呪い
⑭婦人科の呪い
⑮小児科の呪い
主要依拠資料・索引

本体六、〇〇〇円（+税）
A5判並製カバー装・三九二頁
二〇二〇年十月刊行
ISBN978-4-585-20076-5・C1000

書　名	部　数
江戸庶民のまじない集覧 **—創意工夫による生き方の智恵** 長友千代治［著］ 本体6,000円（+税） A5判上製カバー装・392頁 ISBN 978-4-585-20076-5・C1000 2020年10月刊行	部

ご送付先ご住所（通信欄）

勉誠出版
※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠出版宛にお申し出ください。
千代田区神田神保町3-10-2　TEL.03-5215-9021　WEBSITE.http://bensei.jp/
FAX◉03-5215-9025

儒教儀礼と近世日本社会

闇斎学派の『家礼』実践

松川雅信［著］

近世日本にとって儒教儀礼とは何であったのか——

科挙のような儒教的制度を持たない一方、
仏教の葬儀や祭祀が行われていた近世日本社会。
そうした社会を生きる儒者たちは、
殊に東アジアで絶大な影響力を誇った
『**家礼**』記載の喪祭礼を、どのように捉え、
そしていかにして実践しようと試みていたのか。
長期間にわたってこの問題と真摯に向き合い続けた、
山崎闇斎を学祖とする**闇斎学派**に着目、
思想と社会とが様々に交錯する
現場に立ち入ることで、
これまで見落とされてきた
近世日本儒教の新しい一面を照らし出す。

［著者プロフィール］

松川雅信（まつかわ・まさのぶ）
日本学術振興会特別研究員。専門は日本思想史、日本近世史。
主要論文に、「近世儒者の神代巻批判と「神道」「上古」——鈴木貞斎に即して」（山下久夫・斎藤英喜編『日本書紀1300年史を問う』思文閣出版、二〇二〇年）、「近世日本の儒教儀礼と儒者——「東アジア思想史」のための試論的考察」（桂島宣弘ほか編『東アジア　遭遇する知と日本——トランスナショナルな思想史の試み』文理閣、二〇一九年）、「稲葉默斎の喪礼実践論——徂徠学批判・仏教認識に注目して」（第一回日本経済思想史学会賞受賞）（『日本思想史学』五十号、二〇一八年）などがある。

［目次］

序章
第一部　**浅見絅斎とその周辺**
第一章　**「此方ナリ」の『家礼』実践**
——基軸としての「本」と「文」
第二章　**「物ナリ」の思考——「格物」と喪礼実践**
第三章　**「心ノ理ナリ」による来格——鬼神論と祭礼実践**
第二部　**闇斎学派の地域展開と『家礼』実践**
——尾張と上総を中心に
第四章　**尾張藩の学問所と『家礼』**
——蟹養斎による喪祭礼実践の教導
第五章　**寺請・寺檀体制下の『家礼』実践**
——中村習斎と尾張崎門派
第六章　**「反徂徠」と『家礼』実践——稲葉默斎と上総道学**
終章
あとがき
索引

本体**10,000**円（+税）
A5判上製カバー装・440頁
ISBN 978-4-585-21056-6　C3010
2020年7月刊行

書　名	部　数
儒教儀礼と近世日本社会 闇斎学派の『家礼』実践 **松川雅信**［著］ 本体10,000円（+税） A5判上製カバー装・440頁 ISBN978-4-585-21056-6 C3010 2020年7月刊行	部

ご送付先ご住所（通信欄）

勉誠出版
※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠出版宛にお申し出ください。
千代田区神田神保町3-10-2　TEL.03-5215-9021　WEBSITE.http://bensei.jp/
FAX◉03-5215-9025

近世大名墓の考古学

東アジア文化圏における思想と祭祀

松原典明［編］

為政者の思考・観念を「墓」に探る

列島各地に残された近世大名家の墓所は、幕藩体制の社会構造、地域の政治・経済・文化・信仰についての歴史的背景を解明するための極めて重要な歴史資料である。そして、その墓所造営や葬送儀礼、祖先祭祀には、東アジア文化圏に共通項として存在した儒教受容や礼学の実態が顕現している。近年、調査・研究の進む大名家墓所を、考古学そして文献学の知見より多角的に検討し、近世武家社会における為政者の思想とその実践の諸相を明らかにする。

図版掲載点数約400点！

編者プロフィール

松原典明（まつばら・のりあき）

一九六〇年生まれ。石造文化財調査研究所代表。専門は近世考古学、墓制史。著書に『近世宗教考古学の研究』（雄山閣、二〇〇九年）、『近世大名葬制の考古学的研究』（雄山閣、二〇一一年）、『近世大名墓の世界』（共著、雄山閣、二〇一三年）、論文に「近世武家社会における葬制について――藤堂高久の葬送と喪禮」（『日本仏教綜合研究』10号、二〇一一年）、「近世大名家墓所からみたアイデンティティーの形成――大江姓永井家墓所形成を例として」（『日本考古学』41、二〇一六年）、「近世大名墓から読み解く祖先祭祀」（『宗教と儀礼の東アジア――交錯する儒教・仏教・道教』アジア遊学二〇六号、二〇一七年）などがある。

本体 12,000円（+税）

B5判・上製カバー装・336頁
ISBN978-4-585-22276-7　C3021
2020年6月刊行

目次

はじめに◎**松原典明**
総論　近世大名家墓所調査の意義◎**坂詰秀一**

Ⅰ　近世大名葬制の思惟と実践

会津藩の思想と儒教・神道の実践◎**近藤真佐夫**
彦根藩井伊家の墓所造営と変遷――清涼寺墓所の再検討◎**下高大輔**
岡山藩の儒教受容とその本末――儒教の墓を中心にして◎**北脇義友**
日出藩木下家の宗教思想と祭祀――神道・儒教受容の足跡と先祖祭祀の諸相◎**中尾征司**
岡藩中川家の思想と実践――儒教受容とその展開◎**豊田徹士**
近世後期の豊後日田における葬礼の実践について――廣瀬淡窓・咸宜園とその周辺◎**吉田博嗣**
薩摩藩島津家の墓所造営と宗教◎**藤井大祐**
近世大名墓墓誌の存否について◎**石田　肇**

Ⅱ　東アジア文化圏の思想受容と祭祀

黄檗文化の受容とその実践――歴住と帰依大名の墓から◎**松原典明**
黄檗宗の展開と近世大名の帰依◎**田中智誠**
近世大名家における釈奠楽と礼楽の受容と変容――尾張藩徳川義直と姫路藩雅楽頭酒井忠道を事例として◎**楊　桂香**
コラム◉大名庭園に写された西湖堤◎**田中昭三**
長崎唐通事の墓制とその起源◎**田中裕介**
沖縄における儒教の実践◎**仁王浩司**
朝鮮王朝の碑の文化と社会◎**篠原啓方**
執筆者一覧

書　名	部　数
近世大名墓の考古学　東アジア文化圏における思想と祭祀　松原典明［編］　本体12,000円（+税）　B5判・上製カバー装・336頁　2020年6月刊行　ISBN978-4-585-22276-7 C3021	部

ご送付先ご住所（通信欄）

勉誠出版
※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠出版宛にお申し出ください。
千代田区神田神保町3-10-2　TEL.03-5215-9021　WEBSITE.http://bensei.jp/
FAX◉03-5215-9025

古文書の様式と国際比較

小島道裕・田中大喜・荒木和憲［編］
国立歴史民俗博物館［監修］

東アジア古文書学構築のために——

いまを生きるわれわれに
歴史の一場面を伝えてくれる史料、古文書。
そこに記された内容のみならず、
文字の配置や大きさ、料紙の選択、印の位置など、
「モノ」として残るその形もまた、
古文書の持つ様々な意味と機能を伝える貴重な情報源である。
古代から近世にいたる日本の古文書の様式と機能の変遷を
通史的・総合的に論じ、
また、文書体系を共有するアジア諸国の古文書と比較。
日本の古文書の特質を浮き彫りにし、
東アジア古文書学の構築のための基盤を提供する画期的成果。

二〇一八年秋に国立歴史民俗博物館にて開催され、SNS等でも大きな話題となった企画展示「日本の中世文書——機能と形と国際比較」。その関連シンポジウムおよびフォーラムを一書にまとめた貴重な一冊。歴史ファン・古文書ファン待望の一冊。

**掲載図版120点超!
カラー口絵では、
古文書の様式を
分かりやすく図解。**

［編者プロフィール］……

小島道裕（こじま・みちひろ）
国立歴史民俗博物館・総合研究大学院大学教授
専門は日本中近世史。

田中大喜（たなか・ひろき）
国立歴史民俗博物館・総合研究大学院大学准教授
専門は日本中世史。

荒木和憲（あらき・かずのり）
国立歴史民俗博物館准教授
専門は日本中世史・東アジア交流史。

［目次］……

《カラー口絵》図解でわかる文書様式

はじめに……小島道裕

第1部　日本の文書様式とその変遷

1　古代の文書と中世への展開
古代日本における「文書」の誕生……小倉慈司
「詔勅」における口頭伝達の役割……仁藤敦史
中世日本における書状の広がり
——古代書状論・「公文書化」論を中心にして……佐藤雄基

2　中世文書の諸相
将軍の文書と武士団の文書……田中大喜
寺院文書の特性
——衆議文書の形成とその背景……横内裕人

3　戦国大名の文書と近世への展望
戦国大名の文書と天下人の文書……金子　拓
戦国大名の印判状について
——北条氏の「虎の印判」は東アジア標準か……小島道裕

第2部　東アジアの古文書と日本の古文書

1　韓国の古文書をめぐって
朝鮮王朝の国王文書……川西裕也
日本と韓国の署名・花押比較……朴　竣鎬（稲田奈津子訳）
朝鮮時代における私人間の契約文書
——様式と特徴を中心に……文　叔子（稲田奈津子訳）
東アジア古文書の中の画指……三上喜孝

2　中国の古文書をめぐって
中国古文書学概論
——公文書の様式研究を例に……黄　正建（江川式部訳）
明清時代の「信牌」……阿　風（黄　素英訳）
日本古代における中国文書様式の受容と変容……丸山裕美子

3　東アジアの文書と外交の文書
中世日本の往復外交文書
——十五～十六世紀の現存例を中心として……荒木和憲
安南日越外交文書の様式と伝来……藤田励夫
イルハン朝（モンゴル支配期イラン）の公文書……四日市康博

総括　文書実践としての中世文書史……高橋一樹
あとがき……小島道裕
執筆者・翻訳者一覧

本体7,800円（+税）
A5判上製カバー装
カラー口絵16頁＋本文416頁
ISBN 978-4-585-22272-9　C3020
2020年3月刊行

書　名	部　数
古文書の様式と国際比較 小島道裕・田中大喜・荒木和憲［編］ 国立歴史民俗博物館［監修］ 本体7,800円（+税） A5判上製カバー装 カラー口絵16頁＋本文416頁 ISBN978-4-585-22272-9 C3020　2020年3月刊行	部

ご送付先ご住所（通信欄）

勉誠出版
※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠出版宛にお申し出ください。
千代田区神田神保町3-10-2　TEL.03-5215-9021　WEBSITE.http://bensei.jp/
FAX◉03-5215-9025

日本の表装と修理

岩﨑奈緒子・中野慎之・森道彦・横内裕人 ……編

装い、繕い、伝える——

絵画や書、古文書など、紙や絹を用いた文化財は、
表装によって、より美しく、より長くその存在を守られ続ける。
これらの歴史的遺産を修理・保存し、伝えていくことは、
込められた人々の思い・願いをも共有していく営みである。
表装や修理は、どのような価値観や思想のもとに
行われてきたものなのか。
文化財の修理・保存の第一線にあり、
その困難な作業の中で、
技術者たちはどのような試行錯誤を重ねてきたのか。
残し伝えられてきた「モノ」との真摯な対話の中から、
表装と修理にまつわる文化史を描き出し、
今日の我々にとっての
文化財保護の意義と意味を照射する。

［もくじ］……

口　絵
はじめに
参考 文化財の構造と名称

第一部　現代の装潢・文化財修理
装潢師の声を聞く
——技術者から見た装潢文化財修理の進化◆**岩﨑奈緒子**
表具師から装潢師へ◆**岡興造**
古文書修理の歴史と理念◆**湯山賢一**

第二部　表装の文化史
日本中世の仏画の表装◆**谷口耕生**
〝東山表具〟の成立をめぐる小考◆**板倉聖哲**
江月宗玩による表具の記録と制作◆**門脇むつみ**
表装が伝えるもの——後水尾院縁の掛軸を事例として◆**高田智仁**
近代日本における中国書画蒐集と表装◆**竹浪遠**
近代日本画の材料と表装◆**中野慎之**

第三部　修理の文化史
平安時代の仏画制作とその修理◆**増記隆介**
前近代における書跡・古文書修理の諸相
——現状維持の理念をめぐって◆**横内裕人**
護持院隆光の寺社修理——元禄期の奈良を中心に◆**古川攝一**
近世における障壁画の保存と継承◆**森道彦**
近世ヨーロッパ美術と修復
——芸術作品の受容史の視点から◆**平川佳世**
あとがき
執筆者一覧

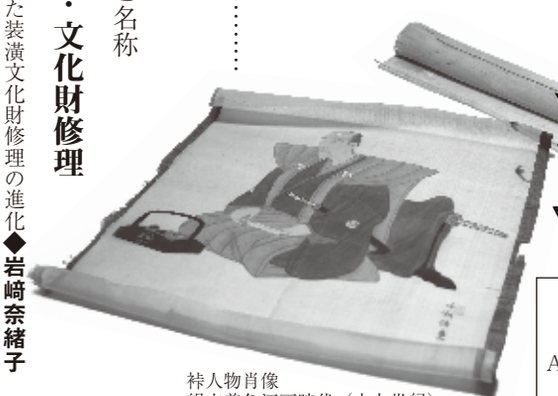
［編者プロフィール］……

岩﨑奈緒子（いわさき・なおこ）
京都大学総合博物館教授。専門は日本近世史。

中野慎之（なかの・のりゆき）
文化庁文化財第一課文部科学技官（絵画部門）。専門は美術史。

森　道彦（もり・みちひこ）
京都国立博物館研究員（中世絵画）。専門は中近世絵画。

横内裕人（よこうち・ひろと）
京都府立大学教授。専門は日本中世史。



裃人物肖像
絹本着色江戸時代（十九世紀）
（京都府蔵（京都文化博物館管理））

本体**7,000**円（+税）
A5判上製・カラー口絵８頁+424頁
ISBN 978-4-585-20073-4　C1000
2020年3月刊行

書　名	部　数
日本の表装と修理 岩﨑奈緒子・中野慎之・森道彦・横内裕人［編］ 本体7,000円（+税） A5判上製・カラー口絵８頁+424頁 ISBN 978-4-585-20073-4　C1000 2020年3月刊行	部

ご送付先ご住所（通信欄）

勉誠出版
※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠出版宛にお申し出ください。
千代田区神田神保町3-10-2　TEL.03-5215-9021　WEBSITE.http://bensei.jp/
FAX◉03-5215-9025

日本画の所在

東アジアの視点から

北澤憲昭・古田亮［編］

西洋との邂逅により近代絵画としての「日本画」が誕生して百余年。近年のグローバリゼーションの展開、東アジアをめぐる情勢の変化は、「日本画」を現代へと続く未解決問題（プロブレマティク）として浮かび上がらせることとなった。

「日本画」はどこから来たのだろうか。
今、どこを生きているだろうか。
そして、これからどこへ行くのだろうか……

〈歴史〉〈領域〉〈表現〉という3つの視点から、東アジアという場における「日本画」の形成・展開の諸相を歴史的・文化的に把捉し、「日本画」の概念を未来へとひらく画期的成果。

掲載図版115点！

横山大観筆「游刃有余地」
（出典：国立博物館所蔵品統合検索システム（https://colbase.nich.go.jp/collectionItems/view/12f08f3c06a62af80737925634848303/18242））

［編者紹介］

北澤憲昭（きたざわ・のりあき）　一九五一年生まれ。女子美術大学名誉教授。表象文化論学会会員。専門は美術批評、美術史。著書に『「日本画」の転位』（ブリュッケ、二〇〇三年）、『定本 眼の神殿――「美術」受容史ノート』（ブリュッケ、二〇一〇年）、『〈列島〉の絵画――「日本画」のレイト・スタイル』（ブリュッケ、二〇一五年）などがある。

古田　亮（ふるた・りょう）　一九六四年生まれ。東京藝術大学大学美術館准教授。専門は日本近代美術史。著書に『視覚と心象の日本美術史』（ミネルヴァ書房、二〇一四年）、『特講漱石の美術世界』（岩波書店、二〇一四年）、『日本画とは何だったのか 近代日本画史論』（KADOKAWA、二〇一八年）などがある。

［目次］

口絵
緒言◉**古田 亮**
序論　東アジアのなかの日本画、日本画のなかの東アジア◉**北澤憲昭**

I　**「歴史」**
近代の日本画　その展開と諸様式◉**古田 亮**
『NIHONGA』とは何か？――作品制作と展示の具体的観点から◉**チェルシー・フォックスウェル**
いま「日本画」のソフトは何か◉**佐藤道信**
「〝描く〟絵画から〝塗る〟絵画へ」再考◉**塩谷 純**
【特論】東アジア絵画への眼差し――近代「日本画」成立以前◉**板倉聖哲**

II　**「領域」**
「日本画」の主題と表現――アジアとの関係の中で◉**天野一夫**
東アジアの近現代絵画――各国の現場レポートから◉**荒井 経**
東京芸術大学日本画の一九八〇年代をめぐって――教員、カリキュラム、入試の変遷から◉**齋藤典彦**
東北画は可能か？　Is Tohoku painting possible?◉**川瀬夏之介**
【特別寄稿】中国における「岩彩絵画」の現状◉**胡 明哲**

III　**「表現」**
現代「日本画」と東アジア――東洋絵画へのまなざし◉**野地耕一郎**
日本画考――創作と教育の現場から◉**間島秀徳**
【特別寄稿】絵は、線であり、残骸であり、ゆるぎなき。◉**岡村桂三郎**
【特別寄稿】「日本画」ではなく「日本の絵画」の特質を考える◉**峯村敏明**
シンポジウム記録
集中討議「日本画の行方」概要◉**加藤弘子**
あとがき◉**北澤憲昭**

荒木寛畝筆「雨中双鶏」（出典：国立博物館所蔵品統合検索システム（https://colbase.nich.go.jp/collectionItems/view/1f20813c06a62af80737925634848303/300））

本体六、五〇〇円（+税）
A5判上製カバー装・カラー口絵一六頁・本文三〇四頁
二〇二〇年四月刊行・ISBN978-4-585-27055-3・C3071

書　名	部　数
日本画の所在 東アジアの視点から 北澤憲昭・古田亮［編］ 本体6,500円（+税） A5判上製カバー装 カラー口絵16頁・本文304頁 2020年4月刊行 ISBN978-4-585-27055-3・C3071	部

ご送付先ご住所（通信欄）

勉誠出版　※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠出版宛にお申し出ください。
千代田区神田神保町3-10-2　TEL.03-5215-9021　WEBSITE.http://bensei.jp/　**FAX◉03-5215-9025**

書物學 18

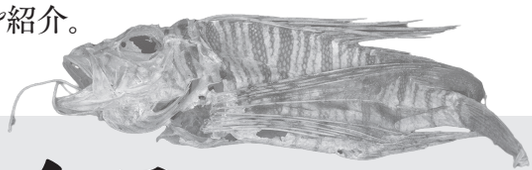
BIBLIOLOGY

古今東西の知の宝庫に分け入り、
読書の楽しさを満喫する！

本体一、八〇〇円（+税）
B5判並製・一二〇頁（フルカラー）
二〇二〇年七月刊行
ISBN978-4-585-20718-4 C1000

書物を集め、愛でた人々、そして、海を越えて伝えられた蔵書に秘められたドラマを描き出す。

日本古典籍はその残存状況の良さ、
また、美麗且つ内容が豊富であることから、
世界各地にコレクションとして伝存している。
本特集では、欧米の著名なコレクションから、
ハワイ大学、ホノルル美術館、アメリカ議会図書館、UCバークレー、
ケンブリッジ大学、オックスフォード大学という
名だたる所蔵機関の特色ある蔵書を紹介。



◉特集

蔵書はめぐる
海外図書館の日本古典籍コレクション

個人蔵書のゆくえ◎**横山學**

「東西の十字路」楽園ハワイの中の古典籍とその来歴
——ハワイ大学マノア校図書館アジアコレクション部日本文庫から◎**バゼル山本登紀子**

古典籍もＡＲＴ——ホノルル美術館収蔵和古書と作品整理について◎**カワイアエア幸代**

米国議会図書館日本古典籍コレクションの来歴と「北方資料」◎**伊東英一／キャメロン・ペンウェル**

太平洋を渡った日本古典籍
——カリフォルニア大学バークレー校C. V.スター東アジア図書館コレクション◎**マルラ俊江**

蔵書を通して見る日本との出会い
——オックスフォード大学ボドリアン図書館の和古書コレクション◎**イズミ・タイトラー**

アーネスト・サトウと武家故実資料
——ケンブリッジ大図書館古典籍コレクションの来歴の一端をさぐる◎**小山騰**

［連載］書物学ことはじめ

【新連載】書籍はどう動いたのか
——近代書籍流通史料の世界◎**磯部敦**

書物の声を聞く　書誌学入門◎**佐々木孝浩**

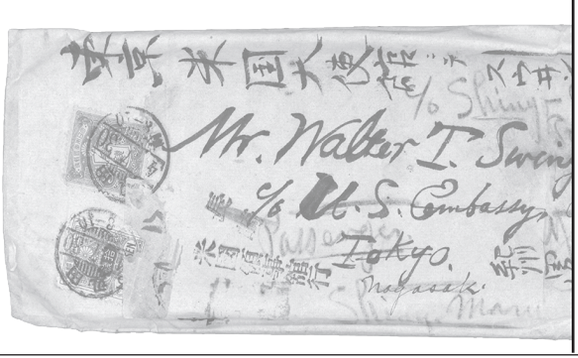
江戸時代の古文書の読み方◎**白川部達夫**

愛書家としての魯迅◎**瀧本弘之**

西洋古書の遠近法◎**雪嶋宏一**

英国愛書家の系譜◎**高宮利行**

［特別寄稿］
小説の連続性と英詩の役割◎**野網摩利子**



書　名	部　数
書物学 18 **蔵書はめぐる** **海外図書館の日本古典籍コレクション** 編集部［編］ 本体1,800円（+税） B5判並製・120頁（フルカラー） 2020年7月刊行 ISBN978-4-585-20718-4 C1000	部

ご送付先ご住所（通信欄）

勉誠出版　※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠出版宛にお申し出ください。
千代田区神田神保町3-10-2　TEL.03-5215-9021　WEBSITE.http://bensei.jp/

FAX◉03-5215-9025